

“鮮度一番！”

No.223

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1～2 / ワーママのジレンマ Vol. 6
2 / 『堤中納言物語』 第6話
2～3 / 運営委員会で話し合われたこと
4 / お知らせ 編集後記

Vol. 6

ワーママのジレンマ

石本史子

ワーママのジレンマ。今回はそのタイトル通りでした。9月の半月、10月の半月、二人の娘たちが代わる代わる体調を崩し、しかもそれが、RS ウィルスやアデノウィルスで、病後も登園禁止期間が設けられているものだから、本当に仕事もへったくれもない状況でした。ですので、本来であれば、「家族支援」を行っている村上 ohana ネットさんをご紹介しますつもりでしたが、次回以降にさせていただきますと思います。

では、今回の内容は何か？と思われることでしょう。ご紹介したいのは団体ではありません。書籍もあります。「もう読んだよ！」という方もいらっしゃるかもしれませんが、ぜひこれから母や父になっていく方にも知っていただきたいと思いますので、ご案内いたします。

書籍のタイトルは、“後悔しない「産む」×「働く」”(ポプラ社)で、国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター副センター長の齊藤秀和氏と、少子化ジャーナリストで作家の白河桃子氏の共著です。ここでは主に、これから社会へと羽ばたこうとする大学生に向けて行われた講義をコンサイズにまとめられました。

白河氏は女性の変化に富んだライフステージを、働くことを継続しながらどう生きていくかという社会的な「キャリア」を中心に話を展開したもので、一方齊藤氏は、妊娠出産、そして不妊の基本的な情報を通じて、心と体、懐にできる限り負担のなく“親”になるのか、もしくはならないのか、という生物学的な「キャリア」について書かれています。

なぜこの本を選んだのかというと、まず、私自身「結婚」「出産」まで考えたライフプランニングを、就職活動中にもっと教えてほしかった！と、子どもを産んでみて初めて痛感したからです。なぜ就職セミナーで、それらを頭の片隅にでも意識させてくれなかったのだろうと心から思ったのです。OG、OB 訪問もしましたが、誰ひとりそんなことは口にしませんでした。

しかし、この本では、「女性の一生には様々なライフイベントがある」「仕事を継続するか否かで生涯年収に大きな差がある」「出産適齢期は男女ともにある」「日本は不妊治療大国である」という客観的な数字と事実を伝えてくれ、「産む自由」「産まない自由」、またいつ産むかなどは読者の判断に委ねつつ、そのうえで、どんな状況でも、時にフルで時に細々とで「働き続ける」ことが、穏やかな中にも山あり谷ありの人生を泳ぎきる秘訣であることを教えてくれるのです。決して読者を困らせるために書かれているのではなく、正確な情報を若い世代に伝え、その当事者たちに早いうちから考えてほしいという思いがひしひしと伝わってきます。

最後に、文章の中で印象に残っている内容があります。それは日本の性教育が非常に遅れているということです。詳細はぜひ著書を読んでいただきたいのですが、教育水準の高い日本において、「妊孕性（妊娠のしやすさ）に対する正答率」というのが18カ国中17位と低く、人間は子どもを授かる意思がないとなかなか授かりにくい可能性がある生き物だというものです。私の、今度大学受験を控えている姪は「中学生のころ、隣で寝ると子どもができると思ってたー」とのたまい、身内の度肝を抜きました。

それは極端な例ですが、妊娠できるかできないかは外見や規則正しい生活をしているからというものでは分からないという客観的事実はもっと知っておいてよいのではないかと思います。娘たちにとって、産み、働く女性のロールモデルに自分もなっていきたい。そう思う気持ちと、いらいらとしてついキツイ言葉で叱ってしまう自分にもジレンマを感じながら、自己嫌悪を抱えつつ、この文章を書くことで少し気持ちが落ち着いたので、今回はここまで。次回こそ村上 ohana ネットさんについて書きたいと思います。

『堤中納言物語』を読む

(第6話)

「逢坂（あふさか）越えぬ権中納言」

三条地名研究会 杉野真

司

昨今、テレビのワイドショーなどで、不倫を指摘された著名人が、「一線は越えていません」と言い訳をする姿が頻繁に見られます。今回の「逢坂越えぬ権中納言」はまさに、一線越えたか、越えなかったかに焦点を合せた作品です。

話しは変わりますが、『堤中納言物語』の各物語には、「合せ（あわせ）」というゲームに興じるシーンがたびたび登場します。二つのチームに分かれ、テーマに沿った物品を出し合い、互いの優劣を競う遊びです。和歌の優劣を競う「歌合せ」が一番有名かもしれませんが、いろんな「合せ」があり、「逢坂越えぬ権中納言」には、菖蒲草（あやめぐさ）の「根合せ（ねあわせ）」のシーンが登場します。菖蒲草（あやめぐさ）と言っても、カキツバタや花ショウブとは別の植物です。美しい花を愛でるのではなく、根っこの長さを競う変なゲームです。オシャレな印象を抱かないのですが、根の長さには、長寿を祝う意味があります。また、本作品自体が「物語合せ」という物語の優劣を競うゲームに出品されています。平安朝の遊びがいろいろ描かれているのも、『堤中納言物語』を読む楽しさの一つと言えます。

「逢坂越えぬ権中納言」の主人公は、誰もが憧れるイケメンです。やることなすことすべてカッコイイという設定です。合わせのゲームでも颯爽と、その手腕を發揮します。しかし、こと恋愛に関しては、優柔不断この上ない有様です。タイトルが暗示していますが、「逢坂越えぬ権中納言」は意識すると「一線を越えられない草食男子」といった按配です。思いを寄せる女性の寝所（しんじょ）にもぐり込んだものの、強引に迫ることもできず、一線を越えることなく物語は終わります。『源氏物語』以降、光源氏以後の男性像は、ガツガツした肉食系男子ではなく、優美で、華奢（きゃしゃ）な草食系男子が多く描かれる様になります。『堤中納言物語』の世相は、貴族の時代が衰退する中、芸術文化は爛熟（らんじゅく）期を迎える矛盾した時代だと言えるかもしれません。

(H29. 10. 31)

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成29年11月1日（水）（AM9：30～11：30）

場 所 男女共同参画センター(桜木町)

12月の運営委員会は、6日（水曜日）9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1. なにか報告はありませんか？

以前、当会で講演をしてくださったさとちん電波隊が、ラジオの公開録音をかねたトーク&ライブ・ショー!!を開催します。

「ほうれい線は恋の落とし穴。自称永遠の28歳。さとちん」「美しさの方程式、ついに解明！ひとちん」「鬼は本当にお菊なのか!?!」のさとちん電波隊の他、「新潟を代表するオトナのバンドマンダムズ」等多彩な出演者らによるトークと歌は、大笑いすること間違いなしです。

さとちん電波隊&フレンズ歳末大感謝祭

さとちん電波隊と仲間たちがお贈りするとびきり愉快的なトーク&ライブ・ショー!!

- ◆日 時：2017年12月9日(土曜日)OPEN15:30/START16:00
〔全席指定〕前売り:2,800円 当日:3,300円
- ◆会 場：燕市文化会館大ホール
(燕市水道町1丁目3番28号 TEL0256-63-7002)
- ◆主 催・チケットのお求め：燕三条エフエム放送株式会社ラヂオは〜と
(燕市大曲3375(燕市交通公園内) TEL0256-61-7680)

2. 研修会&新年会について

来年の1月27日(土曜)に開催を決定した研修会ですが、届いた2018年燕三条産業カレンダーをみたらガックリ↓27日は、お仕事の日でした。学校や銀行、大手企業は、週休2日になって久しいですが、地元の零細企業は、いまだ完全週休2日にはならず…。

研修会の時間が、午後4時からで、新年会が5時からです。皆様、どんな言い訳でもきつと神様が許して下さいます(汗)。どうぞ、万障お繰り合わせでご参加をお願い致します！

- ◆日 時：2018年1月27日(土)
午後4時～研修会、午後5時～新年会
- ◆会 場：旬彩酒房たかだ(三条市旭町1-7-21 TEL0256-35-2704)
- ◆テーマ：「楽しく孫育て!!!」
- ◆講 師：開業助産師西方久子さん
- ◆会 費：お料理3,500円 別途のみ代金
- ◆駐車場：たかださんの駐車場8台。他、一ノ木戸商店街にある旧第四銀行三条東支店の駐車場、利用可。

申込：お近くの運営委員、または、野崎(TEL080-1042-9788)、または、このページをそのままFAX0256-32-3679でお送りください。

研修会 ・ 懇親会 へ参加します。(参加されるものに○印をつけてください)

お名前 _____

【お知らせ】

◆アルザフォーラム 2017 (11/18～26)

●●● 基調講演 ●●●

◆テーマ「ある幸せ、ない幸せ～本当の豊かさは自分が決める～」

◆講師：稲垣えみ子さん

1965年愛知県生まれ。一橋大を卒業後、朝日新聞に入社。
昨年、50歳で早期退職。以後、定職につかず清貧生活を送りながら
「お金がなくてもハッピーなライフスタイル」を探求中。

◆日時：11月19日(日) 13:30～15:30

◆会場：万代市民会館 6階多目的ホール

◆定員：280人(応募多数の場合抽選) ◆保育：15人

◆申込：市役所コールセンター (TEL025-243-4894)

アルザフォーラムは、実行委員会と新潟市が主催となり、この他2つの分科会、23のワークショップ、2つのDVD上映会、パネル展示が行われます。詳しくは、ネットで「アルザフォーラム2017」と検索してください。

◆(公財)新潟県女性財団地域セミナー in 三条

働く女性のためのスキルアップセミナー

自分が変わる 明日が変わる ～ハッピーコミュニケーション術～

第1回 12月2日(土) 14:00～16:30

イライラをコントロール!

～ストレス知らずに毎日を過ごす方法～

講師：小松弘美さん

社会保険労務士法人

こじま事務所

第2回 12月9日(土) 14:00～16:30

自分も相手も大切に!

～職場で活かせるコミュニケーション～

講師：宮川一二三さん

ヒューマンスキル研究所代表

産業カウンセラー

◆対象：市内在住または在勤の現在働いている女性 ◆定員：先着16人

◆会場：男女共同参画センター(三条ものづくり学校内)

◆保育ルーム：生後5ヶ月以上小学2年生まで(一人一回200円)

◆申込期限：11月24日(金)

◆申込・問合せ：三条市市民部地域経営課地域振興係

(TEL34-5624 E-mail:chiikikeiei@city.sanjo.niigata.jp)

編集後記：

パソコンに付随する諸々の機器が悲鳴を上げ始めました。先日コピー機が新しくなりました。機械のメンテナンスもそうですが、自分へのメンテナンスももう少し力をいれなければ・・・！
鮮度一番223号、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>